

春のよき日



文責(校長 白濱忠昭)

1 冬休みを迎えるにあたって(お願い)。

娘の子どもが誕生し、2ヶ月が経とうとしています。産後でまだ我が家にいますので、日々孫の顔を見ては、「こんな人間になってほしいな」「どんな社会で育つのだろう」とあれこれ親子で談義しています。



先般、ある講演会で、日本の人口推移や急激に進化する科学技術の動向により、国内外でグローバル化が進むことが紹介されました。これからは、言葉、生活、習慣、文化、宗教、政治、髪、瞳、肌の色など、様々な相違のある人たちと協働し、みんなで解決していかないと、みんなが生きていけない時代になることから、異文化理解が重要になってくるとのことです。この異文化理解に必要な資質能力はいろいろと想像できますが、その第一歩は「あいさつ」ではないかと私は思います。以前勤務した学校の標語に、「あいさつは 心をつなぐ 手をつなぐ」とありました。人と人とをつなぐ「初めの一步」、それは「あいさつ」です。

その日から早速、孫を見る度に「おはよう」「ただいま」「おやすみ」と語りかけ、あいさつのシャワーを浴びさせています。そして、孫の表情が変わったり手足を動かしたりしただけで、「返事をした」と一人で喜んでいきます。これからの時代を生きる孫に、これまで生きてきた私が伝えられるものは何か、心しながらふれあっています。



さて、春日っ子のあいさつの現状はどうでしょう。朝の校門や裏門でのあいさつの状況や保護者や地域の方からの情報から、個々で差はありますが、全体的には、十分とはいえないのが現状です。

そこではお願いですが、冬休みは、来客や訪問等で、あいさつを交わす場が増えることが予想されます。県のココロねっこ運動のひとつに「あいさつ・声かけ運動を推進し、子どもも大人も顔見知りになりましょう。」があります。ぜひ、この機に、ご家庭や地域で、子どもたちのあいさつ励行へのことばかけをよろしくお願いします。これからの時代を生き抜く、たくましい春日っ子を、みんなで育てていきましょう。



今年もお世話になりました。どうぞ良いお年をお迎えください。

来年もよろしくお願いします。

(春日小職員一同)

2 一足早い「お年玉」です。

以前少年科学館で勤務をしていました。科学館には、プラネタリウムの解説員がいますが、彼らが**カリスマ解説員**と崇める人がいます。**コスモプラネタリウム渋谷の永田美絵解説員**です。永田さんは、NHKラジオ「夏休み子ども科学電話相談」の担当もされ、「太陽系のふしぎ 109」等、多数出版もされています。

1月、全国プラネタリウム連携協議会の研修会が佐世保市で開催され、その講師で来佐されます。そして、**スケジュールの合間に春日小に来校し、講演をしてくださることになりました。奇跡の星といわれる地球で生きる幸せを写真等も交え伝えてくださることと思います。保護者や地域の方も参会可能（椅子等準備はできませんが…。）**です。ぜひご来校ください。

1 日時・場所 平成31年1月11日（金） 14:10～14:55 春日小体育館

2 講演  コスモプラネタリウム渋谷プラネタリウム解説員 永田美絵 先生
「私たちは星のカケラ」～星はみんなとつながっている～

3 学校外で活躍する「春日っ子」を紹介します。

① MOA美術館長崎県児童作品展

<絵画の部>

- | | | | | |
|------|----|----|----|-----------|
| ○ 3年 | ○○ | ○○ | さん | 銀賞 |
| ○ 3年 | ○○ | ○○ | さん | 銅賞 |
| ○ 6年 | ○○ | ○○ | さん | 銅賞 |

<書写の部>

- | | | | | |
|------|----|----|----|-----------|
| ○ 1年 | ○○ | ○○ | さん | 銀賞 |
| ○ 1年 | ○○ | ○○ | さん | 銅賞 |

② 第30回諫早市少年ソフトボール連盟親善大会

第3回佐世保球友杯新人大会

- | | |
|----------------|-----------|
| ○ KSDソフトボールクラブ | 優勝 |
|----------------|-----------|

③ 第17回草野豊彦杯びわっ子少年空手道勝ち抜き戦 女子組手の部

- | | | | | |
|------|----|----|----|------------|
| ○ 4年 | ○○ | ○○ | さん | 第3位 |
|------|----|----|----|------------|



※ 今回までに紹介できなかった読書感想文・感想画や下村修ジュニア科学賞 SASEBO、その他の受賞者は、来年の学校便りに、順次掲載していきます。申し訳ありません。